



“ 脱炭素社会を考える ”

2021年 **12月12日（日）** オンライン講座

	時間帯		テーマ	募集人数
1	9:30-11:00	講演会	世界と日本の脱炭素対策	80名
2	13:30-14:30	学習会	南武線 物語	30名
3	15:00-15:30	講座	“自然の電気”に切り替えよう！	30名
4	16:00-17:30	討論会	「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」改定 みんなでパブコメに参加しよう！	50名

講演会

世界と日本の脱炭素対策

～IPCC第6次報告とC O P26から考える～

講師 **平田仁子**（ひらた・きみこ）さん

（気候ネットワーク 国際ディレクター / CAN-Japan 代表）



【講師紹介】

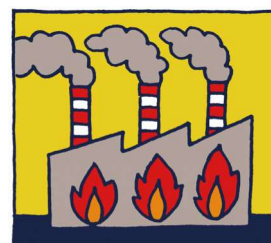
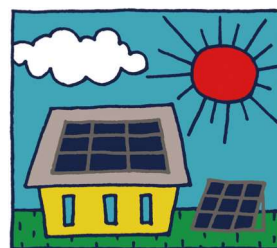
出版社勤務後、1996年より米国環境NGO「Climate Institute」に所属。1998年団体設立当初より気候ネットワークに参加し、気候変動に関する国際交渉や国内外の気候変動・エネルギー政策の研究や分析、提言・情報発信などを行う。CAN-Japan代表も兼務。千葉商科大学サイエンスアカデミー特別客員准教授。博士（社会科学）。

平田さんは、2021年「ゴールドマン環境賞」を受賞しました。この賞は「環境部門のノーベル賞」とも称され、脱炭素社会の実現に向けた取組が評価されました。

今年8月には、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第6次報告書が発表され、地球温暖化は人間活動の影響だと断定されました。

10月31日～11月12日、イギリスのグラスゴーで開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)では2030年に向けた取り組みなどが議論されました。

国連の一連の報告と会議から、これからの世界と日本の脱炭素社会へ向けた取り組みを考えます。特に、日本では石炭火力発電のあり方が問われています。



申込方法

参加費 無料

検索

kwccca

当センターホームページの申込みフォームをご利用ください。



